



高千穂町観光協会 携帯ホームページご案内
<http://www.takachiho-kanko.jp/>

QRコードで
簡単アクセス

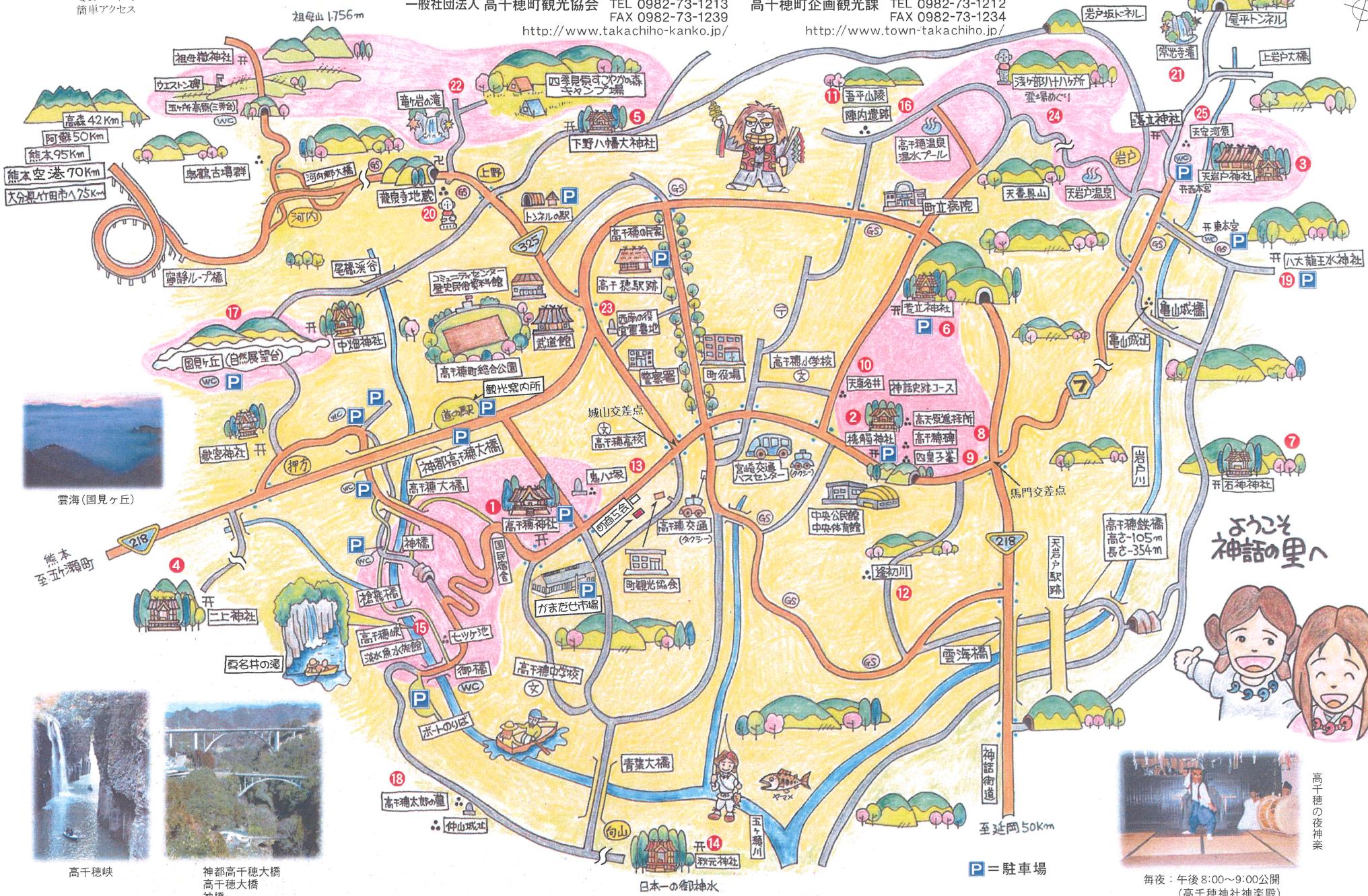
高千穂観光イラストマップ

一般社団法人 高千穂町観光協会 TEL 0982-73-1213
FAX 0982-73-1239
<http://www.takachiho-kanko.jp/>

高千穂町企画観光課 TEL 0982-73-1212
FAX 0982-73-1234
<http://www.town-takachiho.jp/>



高千穂町役場 携帯ホームページご案内
<http://www.town-takachiho.jp/i/>



高千穂の神話史跡

たかほじんじゃ
①高千穂神社 バスセンターから…1.0km

11代垂仁天皇の御世の創建と伝えられている。御祭神はニニギノミコトを始め、皇祖の神々を祀り高千穂18郷88社の総社として特に農産業・厄祓・縁結びの神として広く信仰を集めている。拝殿には国指定重要文化財「鉄造狛犬一対」があり、境内に源頼朝の代参畠山重忠の手植(秩父杉樹齢800年)がそびえている。

例祭日 4月16日

くしふるじんじゃ くしるる みね
②槻觸神社・槻觸の峯 バスセンターから…0.8km

槻觸神社のある山を槻觸の峯といい、天孫降臨の地として伝えている。古事記に「筑紫の日向の高千穂の久土布流多気に天降ります」とあり、古くは槻觸峯を御神体としてお祀りしていたが、1694(元禄7)年に社殿を建立し、ニニギノミコトを始め、降臨された神々を御祭神としている。

例祭日 体育の日

あまのいわじんじゃ
③天岩戸神社 バスセンターから…8.0km

天照大神がお隠れになった天岩戸戸を御神体としてお祀りする西本宮と大神をお祀りする東本宮がある。御神域である天岩戸戸の直拝は社務所にお願いすれば神職の案内がいただける。

例祭日 西本宮 5月 2日・3日
東本宮 9月22日-23日

あたがみじんじゃ
④二上神社 バスセンターから…7.0km

日本書紀の一書に「日向の襲の高千穂のくし日」の二上峰に至りて、「日向風土記逸文」には「白杵郡の内、知舗の郷…日向の高千穂の二上の峰に天降りましき」とあり、往古より天孫降臨の神山として知られる二上山に奥宮と里宮が建立されている。

例祭日 5月3日

しものはちまだいじんじゃ
⑤下野八幡大神社 バスセンターから…6.0km

桓武天皇、延暦元年(782年)の創建と伝えられる。御祭神は神武天皇の母神玉依姫。境内には樹齢800年の国指定天然記念物「イチョウ」と「ケヤキ」のほか、那須大八郎が平家追討の途中参拝し植樹したという逆杉など珍しい巨木がある。

例祭日 5月5日、夜神楽 11月22日

あらたてじんじゃ
⑥荒立神社 バスセンターから…1.5km

天孫降臨の道案内をつめた猿田彦と天錦女神が結婚される時、周りの荒木で急いでお宮を建立したため荒立神社という。鎮座地は古くから神呂木の里といわれ、興梠一族の氏神として参拝されている。近くには天孫降臨の隨神を祀る二十躰王宮がある。

いしがみじんじゃ
⑦石神神社 バスセンターから…5.4km

三毛入野命の使牛を祀ったという伝えがあり、俗に牛神大明神ともいわれる。

御祭神 国常立命
例祭日 第三日曜日

たかまがはらようはいじょ たかほじん
⑧高天原遙拝所・高千穂碑 バスセンターから…1.0km

槻觸神社の南に連なる小高い丘で、天孫降臨後、諸神がこの丘に立って高天原を遙拝した所と伝えられる。中腹には奈良時代から皇祖発祥の地と伝承された厳然たる事實を立証するため、風土記・万葉の古歌を刻した「高千穂碑」がある。

しおうじがみね
⑨四皇子峯 バスセンターから…0.9km

神武天皇の兄弟すなわち4人の皇子が誕生になった場所と伝えられ、神代の皇居のあった所と伝えられる。

くみのまない
⑩天真名井 バスセンターから…0.8km

天然の湧水で天孫降臨の時、この地に水がなかったため、天村雲命が再び天上に上がり、水種を移されたと伝えられる。櫻の老木の根本に今も天然水が湧き出ている。この地を訪れた北原白秋は、晩年の心情と神代川・天真名井の様子を歌に表し、高千穂峡にその短歌と長歌を刻んだ碑文が建立されている。

ひく水に麻のをひて月まつは
清き河原の天地根元作りの家
白秋

たかほきょう
⑯高千穂峠 バスセンターから…2.0km

高千穂峠は太古の昔、阿蘇火山活動のとき、噴出した火碎流が五ヶ瀬川にそって帯状に流れ出し、急激に冷却したため柱状節理の素晴らしい懸崖となった渓谷で、上流の窓の瀬から下流の吐合の間の景観が特に優れ、高いところ約100m、平均80mの断崖が東西にわたり約7kmも続いています。昭和9年11月に五箇瀬渓谷として名勝天然記念物に指定され、また、昭和40年3月には、祖母傾国定公園の一部に指定されました。

じんないせき
⑯陣内遺跡 バスセンターから…1.5km

県内唯一の土偶・石棒をはじめ、縄文時代後・晩期を中心とした多量の土器が出土している縄文時代の代表的な遺跡で、昭和51年に県の史跡に指定されている。陣内遺跡の特徴は多量かつ厚い土器の堆積であり、その状態が観察できるよう、土層の一部を剥ぎ取り現地展示している。(出土品はコミュニティセンター歴史民俗資料館に展示)

くみがおか
⑰国見ヶ丘 バスセンターから…5.5km

雲海と阿蘇涅槃像(ねはんぞう)神武天皇の御孫・建磐龍命が国見をされたという伝説の丘で標高513m。秋の快晴、無風の冷え込んだ朝、雲海が高千穂盆地を覆う。見頃は日の出前後で、初冬まで見ることが出来る。ここから眺める阿蘇五岳はお帆迦様が横たわった姿に似ていることから、別名「阿蘇の涅槃像」と呼ばれている。国見ヶ丘は、涅槃像、雲海とともに神々しい山々が見渡せる絶好的展望ポイントとなっている。

たかちはたろう はか
⑱高千穂太郎の墓 バスセンターから…3.5km

高千穂古今治乱記によれば、高千穂の郡主は三毛入野命の子孫が代々相繼ぎ、50余代家系相続していたが、6代目に男子なく、平安末期に農後(農後)の領主大神太夫惟基の一男を貰い受け、嫡男太郎政次として家系相続したと伝えている。太郎政次は地名の高千穂を名字とし、その後高千穂氏は三田井氏とも名乗り、安土桃山時代まで高千穂庄の領主として君臨している。墓石には「捐館松翁永仙大禪定門神議」と刻してある。

はちだいりゅうおうじんじゃ
⑲八大龍王水神社 バスセンターから…9.0km

創立年代不詳、古伝によると或る日、豪雨の空より黒雲とともに八大龍王水神が御降臨され、数々の神示に氏子等その神恩に奉斎したと伝える。病をはじめ、万象諸事に靈験灼かな神様としてイゴ様の愛称で崇敬されている。

りゅうせんじじぞうどう
⑳龍泉寺地蔵堂 バスセンターから…8.0km

開山は仁徳天皇82代後鳥羽上皇の第三皇子と伝えられ、本寺格の名利であったといふ。三度の大穴にあつて、御本尊(釈迦如来)・地蔵菩薩・十一面觀音像は火難をのがれている。特に、地蔵菩薩坐像は桧材による一本調成像で、平安末期作の全国でも珍しい巨像である。火伏せ地蔵として尊信が厚く、旧暦1月24日の例祭には参詣者が後を絶たない。

じょうこうじ たき
㉑常光寺の滝 バスセンターから…16.5km

標高1756mの祖母山から湧出する自然水が削りだす壮观な滝。長寿の滝・白糸の滝ともいわれる。周囲の紅葉が色づく秋の景観は絶景である。

たつかいわ たき しきみはる
㉒竜ヶ岩の滝・四季見原 バスセンターから…15.5km

上野川の上流、親父山林道沿いに高さ50mの竜ヶ岩の滝がある。自然造形の素晴らしさから、特に紅葉の時期は多くのハイカーで賑わう。上流にはモミ・ツガ等の大木が茂る原生林があり、標高1200mの四季見原は眺望に優れ、キャンプ場、バラグライダーのプライエアも完備している。

かみぐんばぢ
㉓官軍墓地 バスセンターから…1.0km

西郷隆盛が高千穂に現れたのは明治10年8月21日のことである。可愛岳での戦いで敗れた薩軍の総勢はこの時2,000人と記録にある。三田井官軍墓地には、可愛岳での戦いや三田井病院で亡くなった官軍の陸軍兵士39名のほか軍夫7名が供養されている。

あさかべはちじゅうはちかしょれいじょう
㉔浅ヶ部八十八ヶ所靈場 バスセンターから…3.5km

天保6年、里の有志が四国八十八ヶ所靈場のご朱印をいただくとともに、土をもらい受け、八十八駄の石仏を四国と同じ配置で山里に安置し、開闢している。このほかにも庚申塚等の野仏が点在し、歴史に彩られた生活信仰の息吹と田園風景、見渡す山並みは心の旅を満喫してくれる。

あまのやすかわら
㉕天安河原 バスセンターから…8.4km

天岩戸神社西本宮から岩戸川に沿って徒歩で約10分、天照大神が岩戸隠れのため天地暗黒となり、諸神がこの河原に集まり神議されたと伝えられる大洞窟(奥行き25m、間口30m)があり、別名「仰慕ケ窟」とも呼ばれている。